

注3

大学番号：042

[平成25年度設置]

計画の区分：学部学科の設置

注1

届出

国際医療福祉大学 福岡保健医療学部 医学検査学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人国際医療福祉大学
平成28年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 事務部

職名・氏名 シュニン ムラヤマスエ
主任 村山康恵

電話番号 0944-89-2031

（夜間） 0944-89-2031

F A X 0944-89-2148

e-mail y-murayama@iuhw.ac.jp

（注）1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例） 〇〇大学 △△学部 □□学科

（◇◇学部（平成◇◇年度より学科名称変更））

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例）

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

3 大学番号の欄については、平成28年3月30日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

福岡保健医療学部

＜医学検査学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	13
4. 既設大学等の状況	15
5. 教員組織の状況	21
6. 留意事項等に対する履行状況等	41
7. その他全般的事項	43

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人国際医療福祉大学

(2) 大学名

国際医療福祉大学

(3) 大学の位置

〒831-8501
福岡県大川市榎津137-1
(〒324-8501)
(栃木県大田原市北金丸2600-1)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(タカギ クニノリ) 高木 邦格 (平成7年4月)		
学 長	(キタジマ マサキ) 北島 政樹 (平成21年7月)	(オオトモ クニ) 大友 邦 (平成28年4月)	任期満了に伴う変更(28)
学 部 長	(カナイデ ヒデオ) 金出 英夫 (平成23年4月)	(ツジ サダトシ) 辻 貞俊 (平成25年4月)	金出学部長が平成25年4月より副学長兼学部長から副学長へ就任したことに伴う(24)
学科長等	(ツジ サダトシ) 辻 貞俊 (平成25年4月)	(ナガサワ ゼンゾウ) 永沢 善三 (平成27年4月)	学部長の負担軽減と学生指導の充実を図るため(27)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成26年度に報告済の内容 → (26)

平成28年度に報告する内容 → (28)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成25年度開設の4年制の学科の場合(平成28年度までの4年間)ですが、開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称、定員

調査対象学部等の 名称(学位)	設置時の計画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
福岡保健医療学部 医学検査学科 学士(医学検査学)	4年	80人	— 年次人	320人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	平成 2 5 年度		平成 2 6 年度		平成 2 7 年度		平成 2 8 年度		平均入学定員 超 過 率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 80 (－) [－]	人	人 80 (－) [－]	人	人 80 (－) [－]	人	人 80 (－) [－]	人	1.19倍 1.20倍	四捨五入で計算して記入 していたものを、小数点 以下第 3 位を切捨てに表 記を変更し、正しい表記 とした (H28)
志願者数	437 (－) [－]	0 (－) [－]	659 (－) [－]	0 (－) [－]	425 (－) [－]	0 (－) [－]	402 (－) [1] [－]	0 (－) [－]		
受験者数	436 (－) [－]	(－) [－]	653 (－) [－]	0 (－) [－]	423 (－) [－]	0 (－) [－]	402 (－) [1] [－]	0 (－) [－]		
合格者数	188 (－) [－]	(－) [－]	129 (－) [－]	0 (－) [－]	160 (－) [－]	0 (－) [－]	127 (－) [1] [－]	0 (－) [－]		
B 入学者数	118 (－) [－]	(－) [－]	87 (－) [－]	0 (－) [－]	95 (－) [－]	0 (－) [－]	84 (－) [1] [－]	0 (－) [－]		
入学定員超過率 B/A	1.47		1.08 1.09		1.18 1.19		1.05			

- (注) ・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	[-] (-) 118	[-] (-) -	[-] (-) 87	[-] (-) -	[-] (-) 95	[-] (-) -	[1] (-) 84	[-] (-) -	
2 年次			[-] (-) 117	[-] (-) -	[-] (4) 89	[-] (-) -	[-] (2) 92	[-] (-) -	
3 年次					[-] (-) 112	[-] (-) -	[-] (2) 83	[-] (-) -	
4 年次							[-] (-) 112	[-] (-) -	
計							[1] (4) 371		

- (注) ・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成25年度 入学者	118 人	4 人	平成25年度	人	人		3.4% %
			平成26年度	2 人	0 人	進路変更、除籍	
			平成27年度	2 人	0 人	進路変更	
			平成28年度	人	人		
平成26年度 入学者	87 人	4 人	平成26年度	2 人	0 人	身体疾患、進路変更	4.6% %
			平成27年度	2 人	0 人	進路変更	
			平成28年度	人	人		
平成27年度 入学者	95 人	5 人	平成27年度	5 人	0 人	進路変更、就学意欲の低下	5.3% %
			平成28年度	人	人		
平成28年度 入学者	84 人	0 人	平成28年度	人	人		0.0% %
合 計	384 人	13 人					3.4% %

(注)・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・ 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成28年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	
総合 教育 科目	人文 科学 系	文学	1前 →後 →前	2							兼 1 辞任に伴い白岩英樹に担当者 変更、開講学期の変更(28) 教育効果を考慮し開講学期を 変更(26)
		演劇論	1後 未開 →前	2							兼 1 辞任に伴い白岩英樹に変更(27) H25後期に後任非常勤講師佐藤 里野に講義を依頼、以後継続 担当教員辞職のため後任を 模索中(25)
		心理学	1後	2							兼 1
		人間学	1前 →後 未開 →前 後	2							兼 1 教育効果を考慮し開講学期を 変更(27) H26より後任に兼担原富英教授 に講義を依頼(26) 担当教員辞職のため後任を 模索中(25)
		文化人類学	1前 →前後	2							兼 1 教育効果を考慮し開講学期を 変更(25)
		教育学	1後	2							兼 1
		死生学概論	1前	2							兼 1
	社会 科学 系	社会学	1前 →後	2							兼 1 教育効果を考慮し開講学期を 変更(25)
		組織運営管理論	1前	2							兼 1 辞任に伴い埴岡健一に担当者 変更(28) 辞任に伴い羽田明浩に担当者 変更(26)
		国際医療福祉論	1後 →前	2							兼 8 教育効果を考慮し開講学期を 変更(25)
		社会保障制度論	1前 →後	2							兼 1 辞任により橋本真奈美に担当 者変更(28) 教育効果を考慮し開講学期を 変更(27) 講師辞退により川崎竜太に変 更(26)
		ボランティア論	1後	2							4 兼 2 教育内容を鑑みより適切な教 員へ変更(27)
		世界遺産と国際文化政策	1前	2							兼 1
		経済学	1後 →前	2							兼 1 講師辞退により平田哲に変更 (26) 教育効果を考慮し開講学期を 変更(25)
	自然・ 情報 科学 系	統計学の基礎	2後	2				1			兼 1 湯澤聡の着任に伴い担当者を 追加(28)
		自然科学入門（化学、物理学の基礎）	1前	2				1			兼 1 湯澤聡の着任に伴い担当者を 追加(28)
		人体の物理学	1後	2							兼 1
		生物学	1前 1後	2				1			兼 1 教育効果を考慮し、開講学期 を選択可能とし、担当者を追 加(28)
		情報科学入門	1後 →前	2				1			兼 4 湯澤聡の着任に伴い、担当者 と開講学期の変更(28)
		生命倫理	1後	2							兼 1
		医学/医療史	1前 →後	2							8 兼 6 教育内容を鑑みより適切な教 員へ変更(27) 教育効果を考慮し開講学期を 変更(25)
	総合 系	まなび学（大学入門講座）	1前	2		4	1	2 →4	5 →6	0 →4	32 兼 28 効果的指導のため教員を増 員、専任の准教授、講師を追 加(28) 教育内容を鑑みより適切な教 員へ変更(27)

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	
外国語系	医学英語	1 通	2								兼 1
	英会話	1 後 1 前	1								3 兼 4 クラス別指導に伴い服部八重、サミュエル・ジョンテラーを追加、開講学期の変更(28) 辞任に伴い岩崎一恵に変更(27)
	中国語	1 通		2							兼 1
	韓国語	1 通		2							2 兼 4 クラス別指導に伴い金晶晶を追加(28)
	実用英会話	2 前		1							4 3 兼 4 服部の辞任に伴い、サミュエル・ジョンテラーに変更、川内博一の追加(28) 辞任に伴い、岩崎一恵、鎌田エライアン、服部八重に変更(27)
	実用中国語会話	2 前		1							兼 1
	実用韓国語会話	2 前		1							兼 1
	資格英語 1 (Primary)	1 前			1						兼 1 辞任に伴い徳江武に変更(26) TOEIC、TOEFL、英検等、客観的英語能力を評価の対象に加えたことにより科目を追加(25)
	資格英語 2 (Basic)	1 後			1						兼 1 辞任に伴い徳江武に変更(26) TOEIC、TOEFL、英検等、客観的英語能力を評価の対象に加えたことにより科目を追加(25)
保健体育系	健康科学理論	1 後		2							兼 1 辞任に伴い、酒見隆信に変更(28)
	健康科学実践	1 後		1							兼 1 卒業後の臨床工学技士資格の取得に関する科目を追加(25)
専門 教育科目	生命科学の基礎・人体の構造と機能	生化学	1 通	2		1 4		1	1		湯澤講師着任に伴う担当者追加(28) 負担軽減を考慮し、担当教員を変更(27)
		生化学実習	1 後	1		1		2	1 2	0 4	助教の辞任、講師の着任、昇格による職位の変更(28) 効果的な実習実施のため、担当教員を追加(27)
		解剖学	1 通	2		1					
		肉眼解剖学実習	1 後	1		3 4			5 4		効果的な実習実施のため、担当教員を追加(28) 効果的な実習実施のため、担当教員を追加(27)
		一般生理学	1 前	1							兼 1
		人体機能生理学	1 後	1			1				兼 4 専門領域への深化を図るため、専任教員が担当(27)
		分析化学	1 前	1		1					
	医学検査の基礎	内科学(血液学、免疫学、診断学を含む)	2 通	2		1					0 兼 2 金出教授の負担軽減の為、福島伯泰に担当者変更(28) 福島教授の負荷軽減と専門領域への深化を図るため、福島教授を科目代表とするオムニバスとした(26)
		神経学(臨床神経生理学を含む)	2 通	2		0 4					兼 1 負担軽減の為、赤松直樹に担当者変更(26)
		臨床医学概論	1 前	1		1					
		老年学	2 通 2 前	1							兼 1 教育効果を考慮し開講学期を変更(27)
		小児科学	2 後	1							兼 1
		精神医学	2 後 2 前	1							兼 1 教育効果を考慮し開講学期を変更(27)

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	
と 疾 病 の 理 解	リハビリテーション医学	1 後		1							兼 1
	救急医学	1 前 1 後		1							兼 1 教育効果を考慮し開講学期を 変更 (27) 負担軽減の観点から、担当教 員を変更 (27)
	遺伝学	1 前 1 後	1			1		1			教育効果を考慮し開講学期を 変更 (25)
	薬理学	1 後 1 前		1		1					兼 1 教育内容を鑑みより適切な教 員へ変更 (27) 教育効果を考慮し開講学期を 変更 (25)
	栄養学	1 後 1 前		1							兼 1 教育効果を考慮し開講学期を 変更 (25)
専 門 基 礎 科 目	保健医療福祉と医学検	2 前 2 後	1						1		兼 1 教育効果を考慮し開講学期を 変更 (27) 前任者退職に伴い担当を変更 (27)
	保健医療福祉制度論	1 後 1 前		2							2 兼 1 教育内容の専門性から桑野博 文を追加し、オムニバス形式 に変更 (28) 教育効果を考慮し開講学期を 変更 (27)
	数学 (基礎・応用)	1 前	1								兼 1 辞任に伴い杉剛直に変更 (27)
	医用工学・情報概論	1 後	1					1			兼 1 教育内容により適した教員に 変更 (25)
	医用工学・情報実習	2 前	1					1	6 +		兼 1 効果的な実習実施のため、担 当教員追加 (28) 効果的な実習実施のため、担 当教員を追加 (27) 教育内容により適した教員に 変更 (25)
	海外保健福祉事情	2 前	2			1 3 4		1			12 兼 14 辞任、着任に伴う担当教員の 変更 (28) 教育内容を鑑みより適切な教 員へ変更 (27)
	関連職種連携論	2 後	2			1					14 兼 5 オムニバス形式へ変更し、よ り専門的な講義内容に変更 (28)
	関連職種連携ワーク	3 前 3 後	1			3 4	1	2	5		30 36 兼 5 効果的な演習の為、担当教員 追加 (28) 教育効果を考慮し開講学期を 変更 (27)
	関連職種連携実習	4 前		1		1					18 兼 5 効果的な実習の為、担当教員 追加 (28)
	病理検査学	1 後 1 前 1 後	1			1					兼 1 教育効果を考慮し開講学期を 変更、就任辞退に伴う担当教 員の変更 (27) 教育効果を考慮し開講学期を 変更 (25)
	病理検査学実習 I (基礎)	2 前	1			2 4			2	0 1	辞任に伴い安田聖子に担当教 員変更 (28) 効果的な実習実施のため、担 当教員を追加 (27)
	病理検査学実習 II (応用)	3 前	2			2 4			2	0 1	辞任に伴い安田聖子に担当教 員変更 (28) 効果的な実習実施のため、担 当教員を追加 (27)
専 門 教 育 科 目	細胞診断検査学	2 前 2 後	1			2 4					教育内容を鑑みよりオムニバ スへ変更 (27)
	細胞検査学演習 I (基礎)	3 前	1			2 4			1		効果的な演習実施の為、担当 教員を追加 (27)
	細胞検査学演習 II (応用)	3 後 3 前	1			2 4			1		効果的な演習実施の為、担当 教員を追加 (27)
	形態検査										

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	
学	血液形態検査学	1 前 1 後	1			2 +					専門領域への深化を図るため、オムニバスに変更(27) 教育効果を考慮し開講学期を変更(25)
	血液形態検査学実習	2 前	1			1			2	0 +	担当者変更、昇格による職位の変更(28) 効果的な実習実施のため、担当教員を追加(27)
	一般検査学Ⅱ(形態)	2 前	1			2 +	+				昇格による職位の変更。オムニバスへ変更による永沢善三の追加(27) 就任辞退に伴う担当教員の変更(25)
	一般検査学Ⅱ実習(形態)	2 後	1			2 +	+		2	0 +	助教の辞任、昇格による職位の変更に伴い後任補充なし(28) 効果的な実習実施のため、担当教員を追加(27) 就任辞退に伴う担当教員の変更(25)
専門教育科目	生物化学分析検査学	1 後 1 前 1 後	1				1	+			教育効果を考慮し開講学期を変更(27) 就任辞退に伴う担当教員の変更及び教育効果を考慮し開講学期を変更(25)
	一般検査学Ⅰ実習(生物化学分析)	2 前	1				3 +	+	3 2	0 +	昇格に伴う職位の変更(28) 効果的な実習実施のため、担当教員を追加(27)
専門教育科目	臨床化学検査学Ⅰ(総論)	1 後	1			1		+			就任辞退に伴う担当教員の変更(25)
	臨床化学検査学Ⅱ(各論)	2 後 2 前	1			1					教育効果を考慮し開講学期を変更(27) 福島教授負担軽減の観点から宇治義則に担当を変更(26)
	臨床化学検査学実習	3 前	1			1			2	0 +	辞任に伴う担当者変更(28) 効果的な実習実施のため、担当教員を追加(27)
	放射性同位元素検査技術学	3 前	1			+			1	4 兼 3	オムニバスへの変更に伴う担当教員の追加(28) 専門性の深化のため、担当教員を変更(27)
	放射性同位元素検査技術学実習	3 後 3 前	1			1			3 +	0 2	辞任に伴い担当者変更、昇格による職位の変更(28) 教育効果を考慮し開講学期を変更(27) 効果的な実習実施のため、担当教員を追加(27)
	止血検査学	2 後	1			2		+			昨年度担当教員の交替を反映してありませんでした。(27)
	止血検査学実習	3 前	1			1		+	3 2	0 +	昇格による職位の変更(28) 効果的な実習実施のため、担当教員を追加(27)
	遺伝子検査学	2 後	1			+		1			昨年度担当教員の交替を反映してありませんでした。(27)
	遺伝子検査学実習	3 前	1			+		1	5 2	0 +	辞任に伴う担当教員変更と効果的な実習実施のための担当教員追加(28) 効果的な実習実施のため、担当教員を追加(27)
	微生物学	1 通	2			1			1		学科長の負担軽減の為、担当教員の追加(28) 昨年度担当教員の交替を反映してありませんでした。(27)
	微生物学実習	2 後 2 前	2			1			5 +		効果的な実習実施のため、担当教員の追加(28) 教育効果を考慮し開講学期を変更、効果的な実習実施のため、担当教員を追加(27)
	寄生虫検査学	3 前	1			1			4 +		教育効果を考慮し対応教員を追加(28) 昨年度担当教員の交替を反映してありませんでした。(27)
	感染制御学	3 前	1			1					

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	
病 因・ 生 体 防 御 検 査 学	免疫検査学	1 後	1			1		1			負担軽減の為、対応教員の追加 (28)
	免疫検査学実習	2 後 2 前	1			1			2	1	教育効果を考慮し開講学期を変更、効果的な実習実施のため、担当教員を追加 (27)
	輸血・移植検査学	2 後	1			1		1			兼 1 専門性の深化のため、担当教員を変更 (27)
	輸血・移植検査学実習	3 前	1			1		1	3 2	0 1	昇格に伴う職位の変更 (28) 効果的な実習実施のため、担当教員を追加 (27) 昨年度担当教員の交替を反映しておりませんでした。(27)
	遺伝子工学	3 前 3 後	1			1		1			教育効果を考慮し開講学期を変更 (27) 昨年度担当教員の交替を反映しておりませんでした。(27)
	バイオテクノロジー演習	3 後 3 前		1		1 1		2 1	5 2	0 1	効果的な演習実施の為担当教員を追加 (28) 昨年度担当教員の交替を反映しておりませんでした。(27) 教育効果を考慮し開講学期を変更、効果的な演習実施のため、担当教員を追加 (27)
	生理検査学Ⅰ (総論)	1 後	1			1					
	生理検査学Ⅱ (各論)	2 前	1				1				
	生理検査学実習	2 後	2				1		3 2		兼 1 効果的な実習実施のため、担当教員を追加 (28) 効果的な実習実施のため、担当教員を追加 (27)
	画像検査学Ⅰ (総論)	3 前	1				1		1		兼 1 教育内容からより適切な教員に担当を変更・担当教員を追加 (27)
	画像検査学Ⅱ (各論)	3 前	1				1		2		兼 1 教育内容からより適切な教員に担当を変更・担当教員を追加 (27)
	生理機能検査学	1 前 1 後		1		1 1			1		兼任に伴う担当教員の変更 (28) 教育効果を考慮し開講学期を変更、負担軽減のため、担当教員を追加 (27) 就任辞退に伴う担当教員の変更 (25)
検 査 総 合 管 理 学	検査学入門	1 前	1			1 1	1		1		負担軽減の為、担当教員を変更 (28) 担当者の昇格による (27) 就任辞退に伴う担当教員の変更 (25)
	精度管理学	3 前	1			1 1	1		1		教育効果を考慮し対応教員の追加 (28) 負担軽減の観点から、担当教員を変更 (27) 就任辞退に伴う担当教員の変更 (25)
	検査機器・医用機器学総論	3 前 3 後	1			1 1	1		1		教育効果を考慮し対応教員の追加 (28) 負担軽減の観点から、担当教員を変更 (27) 就任辞退に伴う担当教員の変更 (25)
	検査情報システム学	4 前	1			1 1	1	1			教育内容の深化の観点から変更 (28) 担当者の昇格による (27) 就任辞退に伴う担当教員の変更 (25)
	検査管理運営学	4 前	1			2 1 1	1		1		就任辞退に伴う担当教員の変更 (25) 宇治教授とのオムニバスに変更 (26) 担当者の昇格による (27) 教育効果を考慮し、佐藤講師を追加 (28)
	臨床検査医学総論	3 前	1			1					専門性の深化の観点から変更 (27)
	臨床診断学	3 前	1			1					専門性の深化の観点から変更 (27)
	機能組織学	3 前	1			2					兼 1 教育内容からより適切な教員に担当を変更 (27)

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	
専門 教育科目	臨床検査学	超音波検査学演習Ⅰ（基礎）	3 後 3 前	1			1		3 2		兼 1 教育効果を考慮し、開講学期 を変更、対応教員の追加 (28) 教育効果を考慮し開講学期を 変更、教育内容からより適切 な教員に担当を変更(27)
		超音波検査学演習Ⅱ（応用）	3 後 3 前	1			1		3 2		兼 1 教育効果を考慮し、開講学期 を変更、対応教員の追加 (28) 教育効果を考慮し開講学期を 変更、教育内容からより適切 な教員に担当を変更(27)
		MRI検査学演習	3 前		1			1			兼 2 担当教員の変更(28) 教育内容からより適切な教員 に担当を変更(27)
	食品化学	食品衛生学	4 前		2	1			2		就任辞退に伴う担当者の変更 と担当教員の追加(28)
		健康食品学	4 前		2	1					
		食品衛生管理学	4 前		1	1					就任辞退に伴う担当者の変更 (28)
		食品関係法規	4 前		1	1			1		負担軽減の観点から、担当 教員を追加(28)
		食品学	4 前		1	1		1			負担軽減の観点から、担当 教員を追加(28)
	特別 科目	薬物治療学	4 前		1	1					兼 1 教育内容からより適切な教員 に担当を変更(27)
		薬物動態論	4 前		1	1					兼 1 教育内容からより適切な教員 に担当を変更(28)
		治験学概論	4 前		1	1					兼 1 担当者の変更(28) 教育内容からより適切な教員 に担当を変更(27)
		医学検査特論Ⅰ（応用）	4 後	2		6 4	1	2	5		兼 4 教育内容からより適切な教員 に担当を変更、追加(28)
		医学検査特論Ⅱ（発展）	4 後	4		6 4	1 1	2	5 1		辞任に伴う変更、担当教員の 追加(28) 就任辞退に伴う担当教員の変 更(25)
		臨地実習	3 後	7		6 4	2 1 1	1 2	5 2 1	0 1	効果的な実習実施のため、担 当教員の追加、昇格による職 位の変更(28) 効果的な実習実施のため、担 当教員を追加、昇格(27) 就任辞退に伴う担当教員の変 更(25)
		卒業研究	4 後	4		9 7	1 2 1	1 2	5 1		効果的な研究のため、担当教 員を追加、昇格(28) 昇格に伴う職位の変更(27) 就任辞退に伴う担当教員の変 更(25)

(注) ・ 認可申請書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。

- ・ 設置認可時の授業科目全て（兼任、兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上
で、前年度報告時（平成27年度に認可（届出）された大学等は設置認可（届出）時）より変更されているものは
赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。

なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

- ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼○」と記入してください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、
「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。（今後審査を受ける場合
には、「平成○年○月 提出予定」と記入してください。）
- ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等（平成19年度認可
以前）についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、
赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単 位 数			専任教員等の配置					備 考
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	

(2) 授業科目数

設 置 時 の 計 画				変 更 状 況				備 考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 71	科目 46	科目 0	科目 117	科目 71 [0]	科目 46 [0]	科目 3 [3]	科目 120 [3]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに， [] 内に，設置時記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 資格に関する課程など，別課程としている授業科目については算入する必要はありません

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	なし(26) 演劇論	2	1・2・3・4	一般	選択	担当教員が辞職し、代替教員を探したが見つからず、開講できなかった。(25) H25後期に後任非常勤講師佐藤里野に講義を依頼、以後継続(26)
2	なし(26) 人間学	2	1・2・3・4	一般	選択	担当教員が辞職し、代替教員を探したが見つからず、開講できなかった。(25) H26より後任に兼任原富英教授に講義を依頼、以後継続(26)
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているに関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

国際医療福祉大学：未開講科目は、総合教育科目（一般教養科目）の選択科目であり、進級条件や卒業条件に影響はない。しかしながら、当該科目の受講を希望する学生がいること、また、本学として教育上必要な科目と認識しているので、引き続き後任を模索し、次学期の開講に向けて努力したい。学生へは、学内掲示板、電子掲示板等への掲載により周知している。(25)

平成25年度に発生した不開講科目は上記のとおり対応し、現在は開講している。(26)

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}}$	=	0.00
---	---	------

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考									
(1)	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	※大学全体									
	校 舎 敷 地	262,852㎡ 194,962㎡ 182,181㎡ 166,067㎡	㎡	㎡	262,852㎡ 194,962㎡ 182,181㎡ 166,067㎡	小田原保健医療学部で 校地を購入したため増加(26)									
	運動場用地	88,807㎡ 83,147㎡ 76,402㎡	㎡	㎡	88,807㎡ 83,147㎡ 76,402㎡	附属病院敷地を借用契 約したため増加(27)									
	小 計	351,659㎡ 283,796㎡ 265,328㎡ 242,469㎡	㎡	㎡	351,659㎡ 283,796㎡ 265,328㎡ 242,469㎡	成田キャンパス(2学 部)校地を無償借用の ため増加(27)									
	そ の 他	372,772㎡ 372,790㎡ 216,438㎡ 216,438㎡	㎡	㎡	372,772㎡ 372,790㎡ 216,438㎡ 216,438㎡	成田キャンパス(医学 部)校地を無償借用の ため増加(28)									
	合 計	724,431㎡ 656,559㎡ 481,766㎡ 458,907㎡	㎡	㎡	724,431㎡ 656,559㎡ 481,766㎡ 458,907㎡	小田原保健医療学部と 小田原市とで土地の等 価交換を行い、18㎡減 少(H28)									
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体									
		69,103.14㎡ 65,189.24㎡ (65,189.24 ㎡)	0㎡ (0 ㎡)	0㎡ (0 ㎡)	69,103.14㎡ 65,189.24㎡ (65,189.24 ㎡)	福岡看護学部で校舎を 借用したため増加(26)									
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	医学検査学科専用								
		8 室	2 室	4 室	0 室 (補助職員 0人)	0 室 (補助職員 0人)									
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数		平成26年 4 月 専任教授 1 名を新規 採用のため(26)								
		福岡保健医療学部医学検査学科			16 →5 室										
(5)	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体							
								福岡保健 医療学部 医学検査学科	26,097 [1,176] 166,557 [12,010] (21,895 [1,558]) →(20,692 [1,495]) →(165,120 [22,159]) →(141,457 [10,540]) (26)	276 [150] 1,437 [692] (258 [94]) →(254 [91]) →(4,236 [1,223]) →(2,389 [530]) (26)	2,628 [2,085] 2,628 [2,628] (2,628 [2,085]) →(3,136 [2,055]) →(2,628 [2,628]) (26)	300 2,173 (468) →(456) →(4,580) →(2,013) (26)	2,530 88,500 2,089 →2,027 →(77,120)	503 1,127 410 →(927)	医学検査学科の所在す る大川キャンパス図書 館の蔵書数等の数値に 訂正します。(27)
								計	26,097 [1,176] 166,557 [12,010] (21,895 [1,558]) →(20,692 [1,495]) →(165,120 [22,159]) →(141,457 [10,540]) (26)	276 [150] 1,437 [692] (258 [94]) →(254 [91]) →(4,236 [1,223]) →(2,389 [530]) (26)	2,628 [2,085] 2,628 [2,628] (2,628 [2,085]) →(3,136 [2,055]) →(2,628 [2,628]) (26)	300 2,173 (468) →(456) →(4,580) →(2,013) (26)	2,530 88,500 2,089 →2,027 →(77,120)	503 1,127 410 →(927)	図書、学術雑誌、視聴 覚資料、機械・器具の 増加に伴う変更(28)
	図 書 ・ 設 備														
(6) 図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		医学検査学科専用はなし							
		5,739.91㎡		1,014		243,000									
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				医学検査学科専用はなし テニスコートが大川キャンパスで2面増加(28)							
		4,706.37㎡		弓道場		テニスコート8面									

(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	医学検査学科のみ授業料を年額80万円に変更(25) 入学金が必要で負担の重い初年度納付金の軽減を目的に1年次に納付する費用の一部を2年次以降に振り替えた。(27)
		教員1人当り研究費等	500千円	500千円	図書購入費	20,000千円	5,000千円	5,000千円	
		共同研究費等	10,000千円	10,000千円	設備購入費	1,200,000千円	300,000千円	10,000千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,450 1,600 1,700千円	1,350 1,300 1,400千円	1,350 1,300 1,400千円	1,350 1,300 1,400千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成28年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(28)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大 学 の 名 称	国際医療福祉大学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
保健医療学部	年	人	年次 人	人		倍			
看護学科	4	100	-	400	学士 (看護学)	1.18 1.19	平成7 年度	栃木県 大田原市 北金丸 2600番1	
理学療法学科	4	80	-	320	学士 (理学療法学)	1.20	平成7 年度		
作業療法学科	4	80	-	320	学士 (作業療法学)	1.20	平成7 年度		
言語聴覚学科	4	80	-	320	学士 (言語聴覚学)	1.14	平成7 年度		
視機能療法学科	4	40	-	160	学士 (視機能療法学)	1.19	平成14 年度		
放射線・情報科学科	4	100	-	400	学士 (放射線・情報科学)	1.19	平成7 年度		
医療福祉学部						1.08			
医療福祉・マネジメント学科	4	160	-	640	学士 (医療福祉学) (医療マネジメント学)	1.08	平成20 年度		
薬学部						1.08			
薬学科	6	180	-	1,080	学士 (薬学)	1.08	平成18 年度		

大 学 の 名 称	国 際 医 療 福 祉 大 学 (つづき)								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入 定 学 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
成田看護学部						1.08			学部新設(28)
看護学科	4	100	-	400	学士 (看護学)	1.08	平成28 年度	千葉県 成田市 公津の杜 4-3	
成田保健医療学部						1.08			学部新設(28)
理学療法学科	4	80	-	320	学士 (理学療法学)	1.15	平成28 年度		
作業療法学科	4	40	-	160	学士 (作業療法学)	1.07	平成28 年度		
言語聴覚学科	4	40	-	160	学士 (言語聴覚学)	1.00	平成28 年度		
医学検査学科	4	80	-	320	学士 (医学検査学)	1.07	平成28 年度		
小田原保健医療学部						1.18			
看護学科	4	80 50	-	320 200	学士 (看護学)	1.13	平成18 年度	神奈川県 小田原市城山 一丁目2番25号	収容定員増(27)
理学療法学科	4	40	-	160	学士 (理学療法学)	1.19	平成18 年度		
作業療法学科	4	40	-	160	学士 (作業療法学)	1.24	平成18 年度		

大 学 の 名 称	国 際 医 療 福 祉 大 学 (つづき)								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	収容定員増(28)
福岡看護学部						1.21		福岡市早良区百道浜1-7-4	
看護学科	4	100 80	-	400 320	学士 (看護学)	1.21	平成21年度		
福岡保健医療学部						1.18			
理学療法学科	4	80	-	320	学士 (理学療法学)	1.18	平成17年度		
作業療法学科	4	40	-	160	学士 (作業療法学)	1.19	平成17年度		
言語聴覚学科	4	40	-	160	学士 (言語聴覚学)	1.16	平成19年度		
医学検査学科	4	80	-	320	学士 (医学検査学)	1.19	平成25年度	福岡県大川市榎津137番地1号	

大 学 の 名 称	国 際 医 療 福 祉 大 学 大 学 院								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員 人	編入 定 学 員 年 次 人	収 定 容 員 人	学位又 は称号	平均定員 超過率	開 年 設 度	所 在 地	
医療福祉学研究科						倍			
修士課程保健医療学専攻	2	100	-	200	修士 (保健医療学)、 修士 (看護学)、 修士 (助産)	1.31 1.59	平成11 年度		
修士課程医療福祉経営専攻	2	50	-	100	修士 (医療福祉)、 修士 (診療情報管理学)、 修士 (医療ビジネス経営学)、 修士	0.92	平成13 年度		

修士課程臨床心理学専攻	2	25	-	50	修士（臨床心理学）	1.00	平成19年度	栃木県 大田原市 北金丸 2600番1	
博士課程保健医療学専攻	3	50	-	150	博士（保健医療学）、博士（看護学）、博士（助産学）、博士（医療福祉経営学）、博士（医療福祉学）、博士（診療情報管理学）、博士（医療福祉心理学）、博士（医療福祉ジャーナリズム学）	1.38	平成13年度		

大 学 の 名 称	国 際 医 療 福 祉 大 学 大 学 院 (つづき)								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均定 員超過率	開 設 年 度	所 在 地	
薬科学研究科 修士課程生命薬 科学専攻	2	5	-	10	修士 (薬科 学)	0.20 0.20	平成22 年度	栃木県 大田原市 北金丸 2600番1	
薬学研究科 博士課程医療・ 生命薬科学専攻	4	5	-	20	博士 (薬学)	0.55 0.55	平成24 年度		

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成28年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 - ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

＜福岡保健医療学部 医学検査学科＞

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備 考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	辻 貞俊 (65)	平成25年4月	神経学(臨床神経生理学を含む)	専	教授	赤松 直樹 (53)	平成26年4月	神経学(臨床神経生理学を含む)	学部長兼学科長の負担軽減の観点から担当を変更(26)
				臨床医学概論						
				海外保健福祉事情						負担軽減の観点から担当を変更。医学検査学科の多くの教員で対応していることから後任を定めない。(27)
				生理検査学Ⅰ(総論)						
				医学検査特論Ⅰ(応用)						負担軽減の観点から担当を変更。医学検査学科の多くの教員で対応していることから後任を定めない。(28)
専	教授	恒吉 正澄 (67)	平成25年4月	卒業研究						負担軽減の観点から担当を変更。医学検査学科の多くの教員で対応していることから後任を定めない。(29)
					専	教授	佐藤 信也 (58)	平成27年4月	一般検査学Ⅱ実習(形態)	退職：新田 孟徳 (H28.3.31、一身上の都合)(28)
					専	助教	富安 聡 (29)	平成26年4月	一般検査学Ⅱ実習(形態)	昇格：森山 良太 (28)
					専	助教	新田 孟徳 (29)	平成27年4月	一般検査学Ⅱ実習(形態)	効果的な実習実施のため、担当教員を追加(27)
					専	助教	森山 良太 (30)	平成27年4月	一般検査学Ⅱ実習(形態)	
					兼任	講師	杉原 甫 (76)	平成27年4月	病理検査学	渡辺恵子兼任講師の就任辞退に伴う教員の変更。佐藤教信也授とのオムニバスで実施(27)
					専	教授	佐藤 信也 (58)	平成27年4月	病理検査学	渡辺恵子兼任講師の就任辞退に伴う教員の変更。杉原甫教授とのオムニバスで実施(27)
					兼任	講師	渡辺 恵子 (48)	平成26年4月	病理検査学	就任辞退に伴う教員の変更(26)
					兼任	講師	山崎 文朗 (47)	平成25年4月	病理検査学	就任辞退に伴う教員の変更(25)
					専	教授	永沢 善三 (56)	平成27年4月	一般検査学Ⅱ(形態)	専門性の深化を意図し、オムニバスに変更(27)
					専	教授	宇治 義則 (63)	平成28年4月	検査機器・医用機器学総論	教育効果を考慮し対応教員の追加(28)
					専	助教	安田 聖子 (31)	平成27年4月	検査機器・医用機器学総論	安田聖子助教の着任に伴い、大田臨床教授の負担軽減を考慮。(27)
					専	助教	富安 聡 (29)	平成28年4月	救急処置法	新田助教退職に伴う担当科目の見直しによる。(28)
					専	助教	新田 孟徳 (29)	平成27年4月	救急処置法	退職：新田 孟徳 (H28.3.31、一身上の都合)(28) 負担軽減のため、担当教員を追加(27)
					専	教授	宇治 義則 (63)	平成28年4月	精度管理学	教育効果を考慮し対応教員の追加(28)
					専	助教	安田 聖子 (31)	平成28年4月	精度管理学	大田臨床教授の負担軽減を考慮、科目担当の見直し(27)
					専	講師	佐藤 謙一 (42)	平成28年4月	検査情報システム学	教育内容の深化の観点から変更(28)
					専	助教	富安 聡 (29)	平成28年4月	検査学入門	大田臨床教授の負担軽減の為、対応教員の変更(28)

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職 名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職 名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
				まなび学（大学入門講座）	専	講師	佐藤 謙一 (42)	平成28年4月	検査管理運営学	教育効果を考慮し、対応教員の追加（28）
				病理検査学	専	准教授 臨床教授	大田 喜孝 (63)	平成25年4月	まなび学（大学入門講座）	検査学入門は負担軽減の為、対応教員を変更（28）、検査情報システム学は、教育内容の深化の観点から担当者変更（28） 検査管理運営学は、教育効果を考慮し佐藤講師を追加（28）
				一般検査学Ⅱ（形態）					一般検査学Ⅱ（形態）	
				一般検査学Ⅱ実習（形態）					一般検査学Ⅱ実習（形態）	
				救急処置法					救急処置法	
				検査学入門					検査学入門	
				精度管理学					精度管理学	
				検査機器・医用機器学総論					検査機器・医用機器学総論	
				検査情報システム学					検査情報システム学	
				検査管理運営学					検査管理運営学	
				医学検査特論Ⅱ（発展）					医学検査特論Ⅱ（発展）	
				臨地実習					臨地実習	
				卒業研究					卒業研究	
								平成28年4月	医学検査特論Ⅰ（応用）	教育内容から担当教員を追加（28）
										就任辞退に伴う教員の更
				生化学	専	講師	湯澤 聡 (45)	平成28年4月	生化学	湯澤講師の着任に伴い、担当教員を追加（28）
				生化学実習	専	助教	文室 知之 (31)	平成27年4月	生化学	文室知之助教の着任に伴い、宇治教授の負担軽減を考慮（27）
					専	講師	湯澤 聡 (45)	平成28年4月	生化学実習	湯澤講師の着任に伴う担当者の変更（28） 効果的な実習実施のため、佐藤講師を追加（28） 昇格：森山良太（28） 退職：新田 孟徳（H28.3.31、一身上の都合）（28）
					専	講師	佐藤 謙一 (42)	平成28年4月	生化学実習	
					専	助教	森山 良太 (30)	平成27年4月	生化学実習	
					専	助教	富安一聡 (29)	平成27年4月	生化学実習	
					専	助教	新田 孟徳 (29)	平成27年4月	生化学実習	効果的な実習実施のため、担当教員を追加（27）
				分析化学						
				海外保健福祉事情						負担軽減の観点から担当を変更。医学検査学科の多くの教員で対応していることから後任を定めな（27）
				放射性同位元素検査技術学	兼任	教授	後藤 純信 (54)	平成27年4月	放射性同位元素検査技術学	専門性の深化の観点から変更（27） オムニバスへの変更に伴う担当教員の追加（28）
					兼任	講師	高田 憲一 (29)	平成27年4月	放射性同位元素検査技術学	
					兼任	講師	工藤 祥 (65)	平成27年4月	放射性同位元素検査技術学	
					兼任	講師	林 真一郎 (60)	平成28年4月	放射性同位元素検査技術学	
					専	助教	文室 知之 (31)	平成28年4月	放射性同位元素検査技術学	

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
				放射性同位元素検査技術学 実習					放射性同位元素検査技術学 実習	効果的な実習実施のため、担当教員を追加(27) 昇格：森山 良太 (28) 辞任：成田 妙子 (H27. 7. 31異動による辞任) (28) 成田助手の辞任に伴う担当教員の変更(28)
					専	助教	文室 知之 (31)	平成27年4月	放射性同位元素検査技術学 実習	
					専	助教 助手	森山 良太 (30)	平成27年4月	放射性同位元素検査技術学 実習	
					専	助手	成田 妙子 (27)	平成27年4月	放射性同位元素検査技術学 実習	
					専	助教	船島 由美子 (35)	平成28年4月	放射性同位元素検査技術学 実習	
				臨床検査医学 総論	専	教授	赤松 直樹 (53)	平成27年4月	臨床検査医学 総論	専門性の深化の観点から 変更(27)
				臨床診断学	専	教授	赤松 直樹 (53)	平成27年4月	臨床診断学	専門性の深化の観点から 変更(27)
				医学検査特論 I (応用)						
				医学検査特論 II (発展)						
				臨地実習 卒業研究						
専	教授	小坂 克子 (58)	平成25年4月	まなび学 (大 学入門講座)						負担軽減の観点から担当 を変更。医学検査学科の 多くの教員で対応してい ることから後任を定めな い (27)
				解剖学						
				肉眼解学実習					肉眼解学実習	効果的な実習実施のため、担当教員を追加(27) 効果的な実習実施のため、担当教員を追加(28)
					専	臨床教授	大田 喜孝 (63)	平成27年4月	肉眼解学実習	
					専	教授	佐藤 信也 (58)	平成27年4月	肉眼解学実習	
					専	助教	富安 聡 (29)	平成27年4月	肉眼解学実習	
					専	助教	森山 良太 (30)	平成28年4月	肉眼解学実習	
					専	助教	安田 聖子 (31)	平成28年4月	肉眼解学実習	
					専	助教	文室 知之 (31)	平成28年4月	肉眼解学実習	
					専	助教	船島 由美子 (35)	平成28年4月	肉眼解学実習	
				医学検査特論 I (応用)						
				卒業研究						
								平成27年4月	臨床実習	実習指導体制の強化のため (27)
								平成28年4月	医学検査特論 II (発展)	教育効果を考慮し対応教 員の追加(28)

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職 名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職 名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	佐藤 信也 (55)	平成26年4月	海外保健福祉 事情						
				病理検査学実 習Ⅰ(基礎)					病理検査学実 習Ⅰ(基礎)	効果的な実習実施のため、担当教員を追加(27) 辞任：成田 妙子 (H27. 7. 31、異動による 辞任)(28) 退職：新田 孟徳 (H28. 3. 31、一身上の都合) (28) 辞任に伴い安田助教を追加 (28)
					専	助手	成田 妙子 (27)	平成27年4月	病理検査学実 習Ⅰ(基礎)	
					専	助教	新田 孟徳 (29)	平成27年4月	病理検査学実 習Ⅰ(基礎)	
					専	助教	富安 聡 (29)	平成27年4月	病理検査学実 習Ⅰ(基礎)	
					専	臨床教授	大田 喜孝 (63)	平成27年4月	病理検査学実 習Ⅰ(基礎)	
					専	助教	安田 聖子 (31)	平成28年4月	病理検査学実 習Ⅰ(基礎)	
				病理検査学実 習Ⅱ(応用)					病理検査学実 習Ⅱ(応用)	効果的な実習実施のため、担当教員を追加(27) 辞任：成田 妙子 (H27. 7. 31、異動による 辞任)(28) 退職：新田 孟徳 (H28. 3. 31、一身上の都合) (28) 辞任に伴い安田助教を追加 (28)
					専	助手	成田 妙子 (27)	平成27年4月	病理検査学実 習Ⅱ(応用)	
					専	助教	新田 孟徳 (29)	平成27年4月	病理検査学実 習Ⅱ(応用)	
					専	助教	富安 聡 (29)	平成27年4月	病理検査学実 習Ⅱ(応用)	
					専	臨床教授	大田 喜孝 (63)	平成27年4月	病理検査学実 習Ⅱ(応用)	
					専	助教	安田 聖子 (31)	平成28年4月	病理検査学実 習Ⅱ(応用)	
				細胞診断検査 学	専	臨床教授	大田 喜孝 (63)	平成27年4月	細胞診断検査 学	専門性の深化の観点から、大田臨床教授とのオムニバスに変更(27)
				細胞検査学演 習Ⅰ(基礎)	専	臨床教授	大田 喜孝 (63)	平成27年4月	細胞検査学演 習Ⅰ(基礎)	効果的な演習実施の為、 担当教員を追加(27)
					専	助教	富安 聡 (29)	平成27年4月	細胞検査学演 習Ⅰ(基礎)	
				細胞検査学演 習Ⅱ(応用)	専	臨床教授	大田 喜孝 (63)	平成27年4月	細胞検査学演 習Ⅰ(基礎)	効果的な演習実施の為、 担当教員を追加(27)
					専	助教	富安 聡 (29)	平成27年4月	細胞検査学演 習Ⅰ(基礎)	
				健康食品学						
				食品関係法規	専	助教	安田 聖子 (31)	平成28年4月	食品関係法規	負担軽減の観点から、担当教員を追加(28)
				食品学	専	講師	湯澤 聡 (45)	平成28年4月	食品学	負担軽減の観点から、担当教員を追加(28)
								平成28年4月	医学検査特論 Ⅱ(発展)	教育効果を考慮し対応教員 の追加(28)
				医学検査特論 Ⅱ(発展) 臨地実習 卒業研究						

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	永沢 善三 (53)		海外保健福祉 事情 関連職種連携 論 関連職種連携 ワーク 関連職種連携 実習 微生物学 微生物学実習 寄生虫検査学 感染制御学 免疫検査学 薬物動態論 医学検査特論 Ⅱ（発展） 臨地実習 卒業研究	専	助教	船島 由美子 (35)	平成27年4月	微生物学実習	効果的な実習実施のため、担当教員を追加（27） 効果的な実習実施のため、担当教員の追加（28）
					専	助教	森山 良太 (30)	平成28年4月	微生物学実習	
					専	助教	富安 聡 (29)	平成28年4月	微生物学実習	
					専	助教	安田 聖子 (31)	平成28年4月	微生物学実習	
					専	助教	文室 知之 (31)	平成28年4月	微生物学実習	
					専	助教	船島 由美子 (35)	平成28年4月	微生物学	学科長の負担軽減のため、対応教員の追加（28）
					専	助教	船島 由美子 (35)	平成27年4月	寄生虫検査学	学科長の負担軽減のため、対応教員の追加（27） 教育効果を考慮し対応教員を追加（28）
					専	助教	富安 聡 (29)	平成28年4月	寄生虫検査学	
					専	助教	安田 聖子 (31)	平成28年4月	寄生虫検査学	
					専	助教	文室 知之 (31)	平成28年4月	寄生虫検査学	
					専	教授	永沢 善三 (56)	平成25年4月	海外保健福祉 事情 関連職種連携 論 関連職種連携 ワーク 関連職種連携 実習 微生物学 微生物学実習 寄生虫検査学 感染制御学 薬物動態論 医学検査特論 Ⅱ（発展） 臨地実習 卒業研究	学科長就任に伴う負担軽減を意図し、変更。医学検査学科の多くの教員で対応していることから後任を定めない。（27） 負担軽減の為、担当教員の追加（28） 教育内容から藤戸講師に担当を変更（28） 教育効果を考慮し対応教員の追加（28）
					専	教授	福島 伯泰 (46)	平成25年4月	免疫検査学	
					兼任	講師	藤戸 博	平成28年4月	薬物動態論	
								平成28年4月	医学検査特論Ⅱ（発展）	

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職 名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職 名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	山崎 文朗 (46)	平成26年4月		専	助手	成田 妙子 (27)	平成27年4月	遺伝子検査学 実習	就任辞退に伴う教員の変更。医学検査特論Ⅱ（発展）、臨地実習および卒業研究は医学検査学科の臨床検査技師全員で担当している科目であり、後任は特に定めない(26)
					専	助教	新田 孟徳 (29)	平成27年4月	遺伝子検査学 実習	
					専	助教	富安 聡 (29)	平成27年4月	遺伝子検査学 実習	
					専	助教	森山 良太 (30)	平成28年4月	遺伝子検査学 実習	
					専	助教	文室 知之 (31)	平成28年4月	遺伝子検査学 実習	
					専	助教	安田 聖子 (31)	平成28年4月	遺伝子検査学 実習	
					専	助教	船島 由美子 (35)	平成28年4月	遺伝子検査学 実習	
				遺伝子検査学 遺伝子検査学 実習 遺伝子工学 バイオテクノロジー ロージ演習	専	講師	佐藤 謙一 (42)	平成26年4月	遺伝子検査学 遺伝子検査学 実習 バイオテクノロジー ロージ演習	遺伝子工学は、小山助教 退職に伴う担当科目の見直しによる。(27) 退職：小山晃英 (H27. 7. 31、一身上の都合) (27)
					専	講師	湯澤 聡 (45)	平成28年4月	バイオテクノロジー ロージ演習	遺伝子検査学実習は効果的な実習実施のため、担当教員を追加(27)
					専	助教	新田 孟徳 (29)	平成27年4月	バイオテクノロジー ロージ演習	バイオテクノロジー演習は、効果的な演習実施のため担当教員を追加(27)
					専	助教	富安 聡 (29)	平成27年4月	バイオテクノロジー ロージ演習	薬物治療学は、教育内容からより適切な教員に担当を変更(27)
					専	助教	安田 聖子 (31)	平成27年4月	バイオテクノロジー ロージ演習	
					専	助教	文室 知之 (31)	平成28年4月	バイオテクノロジー ロージ演習	バイオテクノロジー演習は、新田助教の退職に伴う担当者変更、湯澤講師の着任に伴う追加、効果的な演習実施のため担当教員を追加(28)
					専	助教	船島 由美子 (35)	平成28年4月	バイオテクノロジー ロージ演習	
					専	助教	森山 良太 (30)	平成28年4月	バイオテクノロジー ロージ演習	辞任：成田 妙子 (H27. 7. 31、異動による辞任) (28) 退職：新田 孟徳 (H28. 3. 31、一身上の都合) (28)
				食品衛生学 食品衛生管理学	専	教授	佐藤 信也 (58)	平成26年4月	食品衛生学 食品衛生管理学	
					専	助教	船島 由美子 (35)	平成28年4月	食品衛生学	昇格：森山 良太 (28)
					専	助教	森山 良太 (30)	平成28年4月	食品衛生学	
				薬物治療学 治験学概論	兼任	講師	平野 和裕 (62)	平成26年4月	薬物治療学 治験学概論	食品衛生学は、対応教員の追加(28)
					兼任	講師	真鍋 健一	平成28年4月	薬物治療学	
					兼任	講師	藤戸 博	平成28年4月	治験学概論	薬物動態論は、教育内容からより適切な教員に担当を変更(28)
				医学検査特論Ⅱ(発展)	専	助教	小山 晃英 (30)	平成26年4月	遺伝子工学	
				臨地実習	専	助教	富安 聡 (29)	平成26年4月	遺伝子工学	
				卒業研究	専	講師	佐藤 謙一 (42)	H27年4月	遺伝子工学	

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職 名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職 名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	福島 伯泰 (44)	平成25年4月	内科学(血液学, 免疫学, 診断学を含む)					内科学(血液学, 免疫学, 診断学を含む)	金出教授の負担軽減の 為、担当者変更 (28) 負担軽減と専門性の深化 の観点からオムニバスへ 変更 (26)
					兼任	教授	金出 英夫 (72)	平成26年4月	内科学(血液学, 免疫学, 診断学を含む)	
					兼任	教授	酒見 隆信 (67)	平成26年4月	内科学(血液学, 免疫学, 診断学を含む)	
				まなび学(大学入門講座)						まなび学は福島教授の負担軽減の観点から担当を変更。医学検査学科の多くの教員が担当することから後任は定めない。
				遺伝学	専	講師	佐藤 謙一 (42)	平成25年4月	遺伝学	負担軽減の観点から担当を変更 (25)
				薬理学	兼任	講師	平野 和裕 (62)	平成26年4月	薬理学	負担軽減の観点から担当を変更 (26)
				血液形態検査学					血液形態検査学	梅村創教授着任に伴い、負担軽減と専門性の深化の観点からオムニバスへ変更 (27)
					専	教授	梅村 創 (66)	H27年4月	血液形態検査学	梅村創教授着任に伴い、負担軽減と専門性の深化の観点からオムニバスへ変更 (27)
					専	助教	富安 聡 (29)	平成27年4月	血液形態検査学実習	昇格：森山 良太 (28) 効果的な実習実施のため、担当教員を追加 (27)
					専	助教	安田 聖子 (31)	平成27年4月	血液形態検査学実習	
					専	助教 助手	森山 良太 (30)	平成27年4月	血液形態検査学実習	
				血液形態検査学実習					血液形態検査学実習	新田助教の退職に伴う担当教員の追加 (28) 退職：新田 孟徳 (H28. 3. 31、一身上の都合) (28) 昇格：森山 良太 (28)
				免疫検査学実習					免疫検査学実習	
					専	助教	富安 聡 (29)	平成27年4月	免疫検査学実習	
					専	助教	新田 孟徳 (29)	平成27年4月	免疫検査学実習	効果的な実習実施のため、担当教員を追加 (27)
					専	助教	文室 知之 (31)	平成27年4月	免疫検査学実習	
					専	助教 助手	森山 良太 (30)	平成27年4月	免疫検査学実習	
				臨床化学検査学Ⅱ(各論)	専	教授	宇治 義則 (63)	平成26年4月	臨床化学検査学Ⅱ(各論)	負担軽減の観点から担当を変更 (26)
				臨床化学検査学実習					臨床化学検査学実習	効果的な実習実施のため、担当教員を追加 (27)
					専	助手	成田 妙子 (27)	平成27年4月	臨床化学検査学実習	辞任：成田 妙子 (H27. 7. 31 関連病院への異動) (28) 退職：新田 孟徳 (H28. 3. 31、一身上の都合) (28)
					専	助教	新田 孟徳 (29)	平成27年4月	臨床化学検査学実習	
					専	助教	文室 知之 (31)	平成27年4月	臨床化学検査学実習	
					専	助教	船島 由美子 (35)	平成28年4月	臨床化学検査学実習	辞任に伴う担当教員の変更 (28)
				医学検査特論Ⅰ(応用)					医学検査特論Ⅰ(応用)	
				卒業研究					卒業研究	

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職 名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職 名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	准教授	片山 雅史 (50)	平成26年4月	生理検査学Ⅱ (各論)					生理検査学Ⅱ (各論)	効果的な実習実施のため、担当教員を追加(27)
				生理検査学実習	専	助教	文室 知之 (31)	平成27年4月	生理検査学実習	
					専	助教	安田 聖子 (31)	平成27年4月	生理検査学実習	
									生理検査学実習	教育内容から担当教員を追加(28)
								平成28年4月	医学検査特論Ⅰ(応用)	
				医学検査特論Ⅱ(発展)					医学検査特論Ⅱ(発展)	
				臨地実習					臨地実習	
				卒業研究					卒業研究	
専	講師	松田 順子 (53)	平成25年4月	一般検査学Ⅰ (生物化学分析)	専	臨床教授 准教授	大田 喜孝 (63)	平成25年4月	一般検査学Ⅰ (生物化学分析)	昇格：森山 良太(28) 一般検査学Ⅰ実習(生物化学分析)は、効果的な実習実施のため、担当教員を追加(27) 就任辞退に伴う教員の変更(25)
				一般検査学Ⅰ 実習(生物化学分析)					一般検査学Ⅰ 実習(生物化学分析)	
					専	教授	宇治 義則 (63)	平成27年4月	一般検査学Ⅰ 実習(生物化学分析)	
					専	教授	福島 伯泰 (46)	平成27年4月	一般検査学Ⅰ 実習(生物化学分析)	
					専	助教	安田 聖子 (31)	平成27年4月	一般検査学Ⅰ 実習(生物化学分析)	
					専	助教	富安 聡 (29)	平成27年4月	一般検査学Ⅰ 実習(生物化学分析)	
					専	助教	森山 良太 (30)	平成27年4月	一般検査学Ⅰ 実習(生物化学分析)	
				臨床化学検査学Ⅰ(総論)	専	教授	宇治 義則 (63)	平成25年4月	臨床化学検査学Ⅰ(総論)	
				まなび学(大学入門講座)					まなび学(大学入門講座)	
				医学検査特論Ⅱ(発展)	専	講師	佐藤 謙一 (42)	平成25年4月	医学検査特論Ⅱ(発展)	
				臨地実習					臨地実習	
				卒業研究					卒業研究	

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	講師	竹ノ内博之 (44)	平成26年4月	止血検査学	専	教授	梅村 創 (66)	H27年4月	止血検査学	梅村創教授着任に伴い、 負担軽減と専門性の深化 の観点からオムニバスへ 変更(27)
					専	助教 助手	森山 良太 (30)	平成27年4月	止血検査学実 習	森山助手の昇格に伴う職 位の変更(28)
					専	助教	安田 聖子 (31)	平成27年4月	止血検査学実 習	効果的な実習実施のため、 担当教員を追加(27)
					専	助教	文室 知之 (31)	平成27年4月	止血検査学実 習	
				止血検査学実 習 輸血・移植検 査学 輸血・移植検 査学実習	専	教授	福島 伯泰 (46)	平成26年4月	止血検査学 止血検査学実 習 輸血・移植検 査学 輸血・移植検 査学実習	就任辞退に伴う教員の変 更(26)
				MRI検査学演習	兼任	講師	山田 尚友 (55)	H27年4月	輸血・移植検 査学	専門性の深化の観点から オムニバスへ変更(27)
					専	助教 助手	森山 良太 (30)	平成27年4月	輸血・移植検 査学	森山助手の昇格に伴う職 位の変更(28)
					専	助教	安田 聖子 (31)	平成27年4月	輸血・移植検 査学	効果的な実習実施のため、 担当教員を追加(27)
					専	助教	文室 知之 (31)	平成27年4月	輸血・移植検 査学	
					専	准教授	片山 雅史 (52)	平成26年4月	MRI検査学演習	就任辞退に伴う教員の変 更(26)
					兼任	教授	宇都宮 英綱 (60)	H27年4月	MRI検査学演習	辞任に伴う教員の変更 (28)
					兼任	講師	工藤 祥 (65)	H28年4月	MRI検査学演習	辞任に伴う教員の変更 (28)
					兼任	講師	藤井 俊樹 (33)	H27年4月	MRI検査学演習	教育内容からより適切な 教員へ変更(27)
				医学検査特論 Ⅱ(発展) 臨地実習 卒業研究	専	助教	富安 聡 (29)	平成26年4月	医学検査特論 Ⅱ(発展) 臨地実習 卒業研究	就任辞退に伴う教員の変 更(26)
専	助教	坂梨 史典 (34)	平成25年4月		専	助教	文室 知之 (31)	平成28年4月	まなび学(大 学入門講座) 医学検査特論 Ⅱ(発展) 臨地実習 卒業研究	新田助教の退職に伴う教 員の変更(28)
					専	助教	新田 孟徳 (29)	平成27年4月	まなび学(大 学入門講座) 医学検査特論 Ⅱ(発展) 臨地実習 卒業研究	退職：新田 孟徳 (H28.3.31、一身上の都合) (28) 退職に伴う教員の変更 (27)
				まなび学(大 学入門講座) 医学検査特論 Ⅱ(発展) 臨地実習 卒業研究	専	助教	小山 晃英 (30)	平成25年4月	まなび学(大 学入門講座) 医学検査特論 Ⅱ(発展) 臨地実習 卒業研究	退職：小山晃英 (H27.7.31、一身上の都合) (27) 就任辞退に伴う教員の変 更(25)

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職 名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職 名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	教授	後藤 純信 (52)	平成25年4月	まなび学（大学入門講座） 救急医学 医用工学・情報概論 医用工学・情報実習 関連職種連携論 関連職種連携ワーク 関連職種連携実習 医学検査特論Ⅰ（応用）	兼任	教授	後藤 純信 (54)	平成25年4月	まなび学（大学入門講座） 救急医学 関連職種連携論 関連職種連携ワーク 関連職種連携実習 医学検査特論Ⅰ（応用）	救急医学は、教育内容からより適切な教員へ担当者を変更(27) 教育内容からより適切な教員へ担当を変更(25)
				専	講師	佐藤 謙一 (42)	平成25年4月	医用工学・情報概論 医用工学・情報実習		
				専	助教	安田 聖子 (31)	平成27年4月	医用工学・情報実習	効果的な実習実施のため、担当教員を追加(27)	
				専	助教	森山 良太 (30)	平成28年4月	医用工学・情報実習	効果的な実習実施のため、担当教員を追加(28)	
				専	助教	富安 聡 (29)	平成28年4月	医用工学・情報実習		
				専	助教	文室 知之 (31)	平成28年4月	医用工学・情報実習		
				専	助教	船島 由美子 (35)	平成28年4月	医用工学・情報実習		
					兼任	教授	松島 俊夫 (67)	H27年4月	救急医学	教育内容からより適切な教員へ変更(27)

(注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。

なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。

・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。

・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。

・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成28年5月1日現在の満年齢を記入してください。

・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合（「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。）は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。

・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**

・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。

なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「（教員審査省略）」及びその変更の理由、変更年度（ ）書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教 授	准教授	講 師	助 教	計	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)
8	1	2	1	12	9	1	2	5	17	9	1	2	5	17
(6)	(0)	(1)	(1)	(8)						[1]	[0]	[0]	[4]	[5]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。

・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。

・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職 名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職 名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	

(2) - ② 年齢構成

年 齢 構 成		
定年規定の定め る定年年齢 (歳)	報告書提出時 (上記(A)) の教員のうち、 定年を延長して 採用している教 員数	完成年度時(上 記(B))の教 員うち、定年を 延長して採用す る教員数
65 歳	2 名	2 名

- (注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成28年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
- ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

5 教員組織の状況

<共通>

(1) 担当教員表

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	副学 長 学 部 長 教 授	金 出 英 夫 (70)	平成25年4月	まなび学（大 学入門講座）	兼任	副学 長 副大 学 院 長 教 授	金 出 英 夫 (72)	平成26年4月	まなび学（大 学入門講座）	副学長、副大学院長を退任 (28) 副学長を兼務(27) 副大学院長に就任(26) 内科学は、負担軽減の為、福 島教授に担当者変更(28) 担当科目に内科学（オムニバ ス）を追加した(26)
				公衆衛生学	専	助教	小山 晃英 (30)	平成26年4月	公衆衛生学	
					専	助教	富安 聡 (29)	平成27年4月	公衆衛生学	
兼任	教授	杉森 甫 (79)	平成25年4月	健康科学理論	兼任	教授	酒見 隆信 (67)	平成28年4月	健康科学理論	退職に伴う変更(28)
兼任	教授	大熊 由紀子 (72)	平成25年4月	ボランティア 論			変更なし			
兼任	教授	佐藤 禎一 (71)	平成25年4月	世界遺産と国 際文化政策			変更なし			
兼任	教授	齊場 三十四 (70)	平成25年4月	社会学 保健医療福祉 制度論 関連職種連携 論	兼任	講師	齊場 三十四 (72)	平成26年4月	社会学 保健医療福祉 制度論 関連職種連携 論	保健医療福祉制度論はオムニ バス形式に変更(28) 平成26年3月末退職、以後非常 勤として同科目を担当(26) オムニバス形式へ変更に伴う 追加(28)
					兼任	講師	桑野 博文 (46)	平成28年4月	保健医療福祉 制度論	
兼任	教授	石橋 大海 (67)	平成27年4月	超音波検査学 演習Ⅰ（基 礎）	専	准教授	片山 雅史 (52)	平成27年4月	超音波検査学 演習Ⅰ（基 礎）	教育内容からより適切な教員 に担当を変更(27)
				超音波検査学 演習Ⅱ（応 用）	専	准教授	片山 雅史 (52)	平成27年4月	超音波検査学 演習Ⅱ（応 用）	教育内容からより適切な教員 に担当を変更(27)
兼任	教授	鹿島 晴雄 (67)	平成25年4月	人間学	兼任	教授	原 富英 (67)	平成26年4月	人間学	人間学はH25は就任辞退後任未 定につき不開講。H26より原教 授が精神医学と併せて人間学 を担当(26)
兼任	教授	原 富英 (62)	平成25年4月	精神医学				平成25年4月	精神医学	
兼任	教授	藤田 郁代 (67)	平成25年4月	医学/医療史			変更なし			
兼任	教授	佐々木 淳 (66)	平成25年4月	老年学			変更なし			
兼任	教授	古川 昭人 (64)	平成25年4月	海外保健福祉 事情	兼任	教授	原口 健三 (57)	平成25年4月	海外保健福祉 事情	退職に伴う変更(25)

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	教授	濱本 邦洋 (62)	平成25年4月	まなび学（大学入門講座） 小児科学 海外保健福祉事情			変更なし			
兼任	教授	深浦 順一 (62)	平成25年4月	海外保健福祉事情						負担軽減の為、担当者変更。 多くの教員で対応していることから後任を定めない。(27)
兼任	教授	藤城 直二 (62)	平成25年4月	生物学 一般生理学 人体機能生理学 海外保健福祉事情						
					専	准教授	片山 雅史 (52)	平成27年4月	人体機能生理学	専門領域への深化を図るため、専任教員が担当(27)
					専	講師	湯澤 聡 (45)	平成28年4月	生物学	教育効果を考慮し、開講学期を選択可能とし、担当者を追加(28)
兼任	教授	奈良 進弘 (59)	平成25年4月	まなび学（大学入門講座） 海外保健福祉事情 関連職種連携論 関連職種連携ワーク 関連職種連携実習	兼任	准教授 講師 (26)	新川 寿子 (48)	平成25年4月	まなび学（大学入門講座） 海外保健福祉事情 関連職種連携論 関連職種連携ワーク 関連職種連携実習	昇格(26) 退職に伴う変更(25)
兼任	教授	宇都宮 英綱 (58)	平成27年4月	画像検査学Ⅰ (総論)	専	准教授	片山 雅史 (51)	平成27年4月	画像検査学Ⅰ (総論)	教育内容からより適切な教員に担当を変更(27)
				画像検査学Ⅱ (応用)	専	准教授	片山 雅史 (51)	平成27年4月	画像検査学Ⅱ (応用)	教育内容からより適切な教員に担当を変更(27)
兼任	教授	黒澤 和生 (55)	平成25年4月		兼任	講師	坂井 達雄	平成27年4月	医学/医療史	教育内容からより適切な教員に担当を変更(27)
					兼任	講師	安井 廣迪	平成27年4月	医学/医療史	教育内容からより適切な教員に担当を変更(27)
				医学/医療史	兼任	教授	黒澤 和生 (58)	平成26年4月	医学/医療史	学科長の負担軽減に伴う削除。本科目は担当教員全体で分担するため後任補充なし(28) 理学療法学科長交替（黒澤⇒森田）のため、担当科目変更。なお医学/医療史は引き続き黒澤担当(26)
				まなび学（大学入門講座） 海外保健福祉事情 関連職種連携論 関連職種連携ワーク 関連職種連携実習	兼任	教授	森田 正治 (51)	平成26年4月	まなび学（大学入門講座） 海外保健福祉事情 関連職種連携論 関連職種連携ワーク 関連職種連携実習	
兼任	教授	高橋 泰 (54)	平成25年4月	国際医療福祉論			変更なし			
兼任	教授	北村 義浩 (52)	平成25年4月	国際医療福祉論			変更なし			

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	准教授	安立 多恵子 (58)	平成25年4月	まなび学（大学入門講座） 海外保健福祉事情 関連職種連携論 関連職種連携ワーク 関連職種連携実習			変更なし			
兼任	准教授	藤田 亘 (57)	平成25年4月	医学/医療史			変更なし			
兼任	准教授	陳 霞雰 (56)	平成25年4月	国際医療福祉論			変更なし			
					兼任	客員教授	南 商堯	平成27年4月	国際医療福祉論	専門性の深化のため、担当を追加(27)
兼任	准教授	為数 哲司 (53)	平成25年4月	まなび学（大学入門講座）		教授	変更なし			昇格(26)
兼任	准教授	村松 由紀 (51)	平成25年4月	医学/医療史		教授	変更なし			昇格(25)
兼任	准教授	加藤 尚子 (49)	平成25年4月	文化人類学			変更なし			
兼任	准教授	日田 勝子 (49)	平成25年4月	まなび学（大学入門講座）			変更なし			
兼任	准教授	丹羽—敦 (48)	平成25年4月	まなび学（大学入門講座）						退職に伴う削除。本科目は担当教員全体で分担するため後任は不補充(26)
兼任	准教授	安本 誠 (47)	平成25年4月	統計学の基礎 自然科学入門（化学、物理学の基礎） 人体の物理学 まなび学（大学入門講座） 情報科学入門 数学（基礎・応用）	専	講師	湯澤 聡 (45)	平成28年4月	統計学の基礎	湯澤講師の着任に伴い担当者を追加(28)
					専	講師	湯澤 聡 (45)	平成28年4月	自然科学入門（化学、物理学の基礎）	湯澤講師の着任に伴い担当者を追加(28)
					兼任	准教授	安本 誠 (49)	平成25年4月	統計学の基礎 自然科学入門（化学、物理学の基礎） 人体の物理学 まなび学（大学入門講座） 情報科学入門	負担軽減の観点から変更(25) 数学(基礎・応用)は、辞任に伴う変更(27)
					兼任	講師	杉 剛直 (47)	平成27年4月	数学（基礎・応用）	
					兼任	講師	後藤—和彦 (26)	平成25年4月	数学（基礎・応用）—	
兼任	准教授	金子 秀雄 (44)	平成25年4月	まなび学（大学入門講座） 海外保健福祉事情			変更なし			
兼任	准教授	岡村 世里奈 (42)	平成25年4月	国際医療福祉論			変更なし			
兼任	准教授	今野 広紀 (41)	平成25年4月	国際医療福祉論			変更なし			

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	永井 あけみ (60)	平成25年4月	国際医療福祉 論		准教授				昇格 (26)
兼任	講師	岩崎 裕子 (51)	平成25年4月	まなび学 (大 学入門講座)			変更なし			
兼任	講師	平島 ユイ子 (51)	平成25年4月	まなび学 (大 学入門講座)		准教授				昇格 (28)
兼任	講師	石橋 英恵 (50)	平成25年4月	まなび学 (大 学入門講座) 海外保健福祉 事情			変更なし			
兼任	講師	樋本 まゆみ (50)	平成25年4月	医学/医療史		准教授				昇格 (26)
兼任	講師	江口 雅彦 (47)	平成25年4月	まなび学 (大 学入門講座)			変更なし			
兼任	講師	徳江 武 (45)	平成25年4月	医学英語 海外保健福祉 事情			変更なし			
兼任	講師	多賀 誠 (44)	平成25年4月	まなび学 (大 学入門講座)		准教授	変更なし			昇格 (26)
兼任	講師	室井 健三 (44)	平成25年4月	国際医療福祉 論			変更なし			
兼任	講師	裕田 憲亮 (43)	平成25年4月	まなび学 (大 学入門講座)			変更なし			
兼任	講師	中原 雅美 (41)	平成25年4月	まなび学 (大 学入門講座)		准教授	変更なし			昇格 (26)
兼任	講師	永井 良治 (39)	平成25年4月	まなび学 (大 学入門講座) 関連職種連携 論 関連職種連携 ワーク 関連職種連携 実習		准教授	変更なし			昇格 (26)
兼任	講師	義田 俊之 (38)	平成25年4月	まなび学 (大 学入門講座) 海外保健福祉 事情			変更なし			
兼任	講師	大石 剛史 (37)	平成25年4月	ボランティア 論		准教授	変更なし			昇格 (26)
兼任	講師	石本 豪 (35)	平成25年4月	心理学	兼任	教授	小牧 元 (64)	平成25年4月	心理学	担当を変更 (25)
兼任	助教	長谷 麻由 (41)	平成25年4月	まなび学 (大 学入門講座)		講師	変更なし			昇格 (26)
兼任	助教	難波 雄 (40)	平成25年4月	まなび学 (大 学入門講座) 海外保健福祉 事情	兼任	助教	石川 幸信 (34)	平成28年4月	まなび学 (大 学入門講座) 海外保健福祉 事情	退職に伴う担当者変更 (28)
兼任	助教	岡本 龍児 (39)	平成25年4月	まなび学 (大 学入門講座) 海外保健福祉 事情						退職に伴う削除。本科目は担 当教員全体で分担するため後 任は不補充 (28)

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	助教	岡 真一郎 (37)	平成25年4月	まなび学（大 学入門講座）			変更なし			
兼任	助教	久保下 亮 (37)	平成25年4月	まなび学（大 学入門講座）						退職に伴う削除。本科目は担 当教員全体で分担するため後 任は不補充（25）
兼任	助教	川崎 東太 (36)	平成25年4月	まなび学（大 学入門講座）			変更なし			
兼任	助教	池田 拓郎 (35)	平成25年4月	まなび学（大 学入門講座）			変更なし			
兼任	助教	下田 武良 (33)	平成25年4月	まなび学（大 学入門講座）			変更なし			
兼任	講師	大場 建治 (81)	平成25年4月	文学	兼任	講師	白岩 英樹 (40)	平成28年4月	文学	辞任に伴う担当者変更（28）
兼任	講師	青木 清 (76)	平成25年4月	生命倫理	兼任	教授	小牧 元 (64)	平成25年4月	生命倫理	担当を変更（25）
兼任	講師	杉原 甫 (74)	平成25年4月	機能組織学	専	教授	小坂 克子 (61)	平成27年4月	機能組織学	教科内容からより適切な専任 教員へ担当を変更（27）
					専	教授	佐藤 信也 (58)	平成27年4月	機能組織学	教科内容からより適切な専任 教員へ担当を変更（27）
兼任	講師	三浦 浩子 (71)	平成25年4月	栄養学	兼任	講師	尾崎 加奈 (35)	平成25年4月	栄養学	就任辞退に伴う変更（25）
兼任	講師	奥野 徹子 (70)	平成25年4月	リハビリテー ション医学			変更なし			
兼任	講師	岩尾 総一郎 (65)	平成25年4月	国際医療福祉 論			変更なし			
兼任	講師	岡本 章 (63)	平成25年4月	演劇論	兼任	講師	佐藤 里野 (34)	平成25年10月	演劇論	辞任に伴う就任（26）
					兼任	講師	白岩 英樹 (40)	平成27年4月	演劇論	辞任に伴う就任（27）
兼任	講師	中山 幸治 (63)	平成25年4月	組織運営管理 論	兼任	准教 授	羽田 明浩 (51)	平成26年4月	組織運営管理 論	辞任に伴う就任（26）
					兼任	講師	埴岡 健一 (57)	平成28年4月	組織運営管理 論	辞任に伴う就任（28）
兼任	講師	小野 充一 (60)	平成25年4月	死生学概論			変更なし			
兼任	講師	三柴 恵美子 (59)	平成25年4月	医学/医療史			変更なし			
兼任	講師	渡邊 弘 (57)	平成25年4月	教育学			変更なし			

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	Patricia Flores (55)	平成25年4月	実用英会話	兼任	講師	岩崎 一恵 (62)	平成27年4月	実用英会話	辞任に伴う変更 (27)
					兼任	講師	鎌田マリイ エバ・アライ (68)	平成27年4月	実用英会話	辞任に伴う変更 (27)
					兼任	講師	服部 八重 (61)	平成27年4月	実用英会話	辞任に伴う変更 (27)
					兼任	講師	サミュエル ジョン ティラー (35)	平成28年4月	実用英会話	辞任に伴う変更 (28)
					兼任	講師	川内 モーホル (59)	平成28年4月	実用英会話	クラス別指導に伴う担当者の 追加 (28)
兼任	講師	趙 淑範 (52)	平成25年4月	中国語 実用中国語会 話			変更なし			
兼任	講師	松石 達彦 (43)	平成25年4月	経済学	兼任	講師	平田 哲 (68)	平成26年4月	経済学	辞任に伴う変更 (26)
					兼任	教授	菊池 哲郎 (66)	平成25年4月	経済学	辞任に伴う変更 (25)
兼任	講師	李 錦東 (41)	平成25年4月	韓国語 実用韓国語会 話			変更なし			
兼任	講師	岩坪 泰代 (34)	平成25年4月	社会保障制度 論	兼任	講師	川崎 竜太 (34)	平成26年4月	社会保障制度 論	辞任に伴う変更 (26)
兼任	講師	Matthew Potts (33)	平成25年4月	英会話	兼任	講師	岩崎 一恵 (62)	平成27年4月	英会話	辞任に伴う変更 (27)
					兼任	講師	服部 八重 (61)	平成27年4月	英会話	クラス別指導に伴う担当者の 追加 (28)
					兼任	講師	サミュエル ジョン ティラー (35)	平成28年4月	英会話	クラス別指導に伴う担当者の 追加 (28)

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
1	教授	恒吉 正澄	必修	まなび学（大学入門講座）	①	就任辞退：現勤務先における業務都合のため(25)				
			必修	病理検査学	①					
			必修	一般検査学Ⅱ（形態）	①					
			必修	一般検査学Ⅱ実習（形態）	①					
			選択	救急処置法	①					
			必修	検査学入門	①					
			必修	精度管理学	①					
			必修	検査機器・医用機器学総論	①					
			必修	検査情報システム学	①					
			必修	検査管理運営学	①					
			必修	医学検査特論Ⅱ（発展）	①					
			必修	臨地実習	①					
			選択	卒業研究	①					
2	講師	松田 順子	必修	一般検査学Ⅰ（生物化学分析）	①	就任辞退：現勤務先における業務都合のため(25)				
			必修	一般検査学Ⅰ実習（生物化学分析）	①					
			必修	臨床化学検査学Ⅰ（総論）	①					
			必修	まなび学（大学入門講座）	①					
			必修	医学検査特論Ⅱ（発展）	①					
			必修	臨地実習	①					
			選択	卒業研究	①					
3	助教	坂梨 史典	必修	まなび学（大学入門講座）	①	就任辞退：現勤務先における業務都合のため(25)				
			必修	医学検査特論Ⅱ（発展）	①					
			必修	臨地実習	①					
			選択	卒業研究	①					
4	教授	山崎 文朗	必修	遺伝子検査学	①	就任辞退：現勤務先における業務都合のため(26)				
			必修	遺伝子検査学実習	①					
			必修	遺伝子工学	①					
			選択	バイオテクノロジー演習	①					
			選択	食品衛生学	①					
			選択	食品衛生管理学	①					
			選択	薬物治療学	①					
			選択	治験学概論	①					
			必修	医学検査特論Ⅱ（発展）	①					
			必修	臨地実習	①					
			選択	卒業研究	①					
5	講師	竹之内 博之	必修	止血検査学	①	就任辞退：現勤務先における業務都合のため(26)				
			必修	止血検査学実習	①					
			必修	輸血・移植検査学	①					
			必修	輸血・移植検査学実習	①					
			選択	MRI検査学演習	②					
			必修	医学検査特論Ⅱ（発展）	①					
			必修	臨地実習	①					
			選択	卒業研究	①					
合 計（A）				後任補充状況の集計（B）						
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）		
5	人	必修	31	科目	必修	31	科目	必修	0	科目
		選択	12	科目	選択	11	科目	選択	1	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	43	科目	計	42	科目	計	1	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した**全ての専任教員**の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼任教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1	助教	小山 晃英	必修	遺伝子工学	①	自己都合による退職のための辞任 (26)			
			必修	まなび学（大学入門講座）	①				
			必修	医学検査特論Ⅱ（発展）	①				
			必修	臨地実習	①				
			選択	卒業研究	①				
			必修	公衆衛生学	①				
2	助教	新田 孟徳	必修	一般検査学Ⅱ実習（形態）	①	自己都合による退職のための辞任 (28)			
			選択	救急処置法	①				
			必修	病理検査学実習Ⅰ（基礎）	①				
			必修	病理検査学実習Ⅱ（応用）	①				
			必修	遺伝子検査学実習	①				
			選択	バイオテクノロジー演習	①				
			必修	免疫検査学実習	①				
			必修	臨床化学検査学Ⅰ（総論）	①				
			必修	臨床化学検査学実習	①				
			必修	まなび学（大学入門講座）	①				
			必修	医学検査特論Ⅱ（発展）	①				
			必修	臨地実習	①				
			選択	卒業研究	①				
合 計（C）				後任補充状況の集計（D）					
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
2	人	必修	15 科目	必修	15 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	4 科目	選択	4 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	19 科目	計	19 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した**全ての専任教員**の辞任の理由を具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および () 書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記 (3) -① ・ (3) -② の合計

合計（Ａ）＋（Ｃ）				後任補充状況の集計（Ｂ）＋（Ｄ）					
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
7	人	必修	46 科目	必修	46 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	16 科目	選択	15 科目	選択	1 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	62 科目	計	61 科目	計	1 科目	計	0 科目

- (注) ・ 就任辞退 (未就任) 及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

（４）専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

国際医療福祉大学：平成25年度に発生した3名専任教員予定者は、臨床に即した人材を育成する上での適任者として就任する予定であったが、現職場における予想外の離職者の発生等により、本学への就任が不可能になったものであり、やむを得ない理由によるものと判断した。なお、開学前の就任辞退でもあり、学生へは周知していない。(25)

平成26年度に交替が発生した2名の専任教員予定者は、臨床に即した人材を育成する上での適任者として就任する予定であったが、現在の職場の想定外の離職者の発生等により就任が不可能となったものであり、やむを得ない事情であると判断した。なお、2名の担当科目は原則として2年次以降の開講科目であり、学生へは特に周知していない。なお病理検査学については就任予定前の昨年時点で非常勤として授業を担当していただき、学生からの評判も非常に高いものがあった。今後も何らかの形で本学の教育にコミットしていただくよう、働きかけを行っていく予定である。(26)

平成27年度に報告する1名の専任教員の辞任は、本教員の代わりとなる専任教員はすでに採用している。担当科目から学生指導まで円滑に引き継ぎを終えている。同様に熱心に教育に取り組んでおり、辞任の影響はない。学生へは必修科目等の授業において口頭にて連絡している。(27)

平成28年度に報告する1名の専任教員（助教）の辞任は、本教員の代わりとなる専任教員はすでに採用している。担当科目から学生指導まで円滑に引き継ぎを終えている。同様に熱心に教育に取り組んでおり、辞任の影響はない。学生へは授業において口頭にて連絡している。また、もう1名の専任教員（助手）の辞任についても、他の助教が実習・演習の補助に入るため特に問題はない。(28)

（注）・ 上記（３）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してくだ

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画																																																												
設 置 時 (24年4月)	・小田原保健医療学部 理学療法学科の定員超 過の是正に努めるこ と。	入学者推移 <table><tr><td></td><td>23年度</td><td>24年度</td><td>25年度</td></tr><tr><td>入学 定員</td><td>40人</td><td>40人</td><td>40人</td></tr><tr><td>合格 者数</td><td>96人</td><td>87人</td><td>82人</td></tr><tr><td>入学 者数</td><td>58人</td><td>51人</td><td>51人</td></tr><tr><td>定員 超過率</td><td>1.45倍</td><td>1.28倍</td><td>1.28倍</td></tr></table> ・平成24年度及び平成25年度は歩留 を考慮して合格者数を減らし、定員 超過率の改善に努めました。今後も 改善に努力いたします。(25)		23年度	24年度	25年度	入学 定員	40人	40人	40人	合格 者数	96人	87人	82人	入学 者数	58人	51人	51人	定員 超過率	1.45倍	1.28倍	1.28倍																																									
	23年度	24年度	25年度																																																												
入学 定員	40人	40人	40人																																																												
合格 者数	96人	87人	82人																																																												
入学 者数	58人	51人	51人																																																												
定員 超過率	1.45倍	1.28倍	1.28倍																																																												
設置計画履行状況 調 査 時 (25年5月)	○福岡保健医療学部医 学検査学科の入学定員 超過の是正に努めるこ と。 ○保健医療学部放射 線・情報科学科の入学 定員超過の是正に努め ること。 ○小田原保健医療学部 理学療法学科の入学定 員超過の是正に努める こと。	・入学者推移 <table><tr><td>医学 検査</td><td>25年度</td><td>26年度</td><td></td><td></td></tr><tr><td>入学 定員</td><td>80人</td><td>80人</td><td></td><td></td></tr><tr><td>入学 者数</td><td>118人</td><td>87人</td><td></td><td></td></tr><tr><td>定員 超過率</td><td>1.47倍</td><td>1.08倍</td><td></td><td></td></tr></table> <table><tr><td>放射・ 情報</td><td>23年度</td><td>24年度</td><td>25年度</td><td>26年度</td></tr><tr><td>入学 定員</td><td>100人</td><td>100人</td><td>100人</td><td>100人</td></tr><tr><td>入学 者数</td><td>129人</td><td>126人</td><td>129人</td><td>128人</td></tr><tr><td>定員 超過率</td><td>1.29倍</td><td>1.26倍</td><td>1.29倍</td><td>1.28倍</td></tr></table> <table><tr><td>理学 療法</td><td>23年度</td><td>24年度</td><td>25年度</td><td>26年度</td></tr><tr><td>入学 定員</td><td>40人</td><td>40人</td><td>40人</td><td>40人</td></tr><tr><td>入学 者数</td><td>58人</td><td>51人</td><td>51人</td><td>47人</td></tr><tr><td>定員 超過率</td><td>1.45倍</td><td>1.27倍</td><td>1.27倍</td><td>1.17倍</td></tr></table> ・これまでの教訓を踏まえ、合格者数 の抑制を行い、入学定員超過率の是正 を図っている。(26)	医学 検査	25年度	26年度			入学 定員	80人	80人			入学 者数	118人	87人			定員 超過率	1.47倍	1.08倍			放射・ 情報	23年度	24年度	25年度	26年度	入学 定員	100人	100人	100人	100人	入学 者数	129人	126人	129人	128人	定員 超過率	1.29倍	1.26倍	1.29倍	1.28倍	理学 療法	23年度	24年度	25年度	26年度	入学 定員	40人	40人	40人	40人	入学 者数	58人	51人	51人	47人	定員 超過率	1.45倍	1.27倍	1.27倍	1.17倍	
医学 検査	25年度	26年度																																																													
入学 定員	80人	80人																																																													
入学 者数	118人	87人																																																													
定員 超過率	1.47倍	1.08倍																																																													
放射・ 情報	23年度	24年度	25年度	26年度																																																											
入学 定員	100人	100人	100人	100人																																																											
入学 者数	129人	126人	129人	128人																																																											
定員 超過率	1.29倍	1.26倍	1.29倍	1.28倍																																																											
理学 療法	23年度	24年度	25年度	26年度																																																											
入学 定員	40人	40人	40人	40人																																																											
入学 者数	58人	51人	51人	47人																																																											
定員 超過率	1.45倍	1.27倍	1.27倍	1.17倍																																																											
設置計画履行状況 調 査 時 (26年5月)	該当なし																																																														

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設置計画履行状況 調 査 時 (27年5月)	該当なし			

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<福岡保健医療学部 医学検査学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
① 修了要件単位数 124単位 必修科目100単位、選択科目24単位 ② 施設・設備 a 講義室8室 (1,110.76㎡) b 学生ラウンジ1室 (276.88㎡) c 図書26,097冊 (福岡保健医療学部全体、完成時)	① 必修、選択に変更なし。「2 授業科目の概要」に記載済みだが、「健康科学実践 (1単位・自由)」、「資格英語 1 (Primary) (1単位・自由)」、「資格英語 2 (Basic) (1単位・自由)」をそれぞれ追加。「健康科学実践」は卒業後に臨床工学技士養成校1年課程への入学資格を十分満たすことができるよう学生に配慮するために設けた。「資格英語」の2科目は大学全体の方針として外国語の検定等を重視することから追加した。(25) ② 当初の予定から変更なし(25)

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む)

① 実施体制 a 委員会の設置状況 国際医療福祉大学福岡保健医療学部FD委員会 b 委員会の開催状況 (教員の参加状況含む) 年10回実施、委員は各学科、所属から選出。 c 委員会の審議事項等 ・ FD研修会の計画、立案、実施 ・ 月例教員会議の際の各教員持ち回り発表の調整 ・ 大学全体のFD研修会との企画調整
--

② 実施状況

a 実施内容

- ①FD研修会（年2回）
- ②月例教員会議の際の各教員持ち回り発表

b 実施方法

- ①FD研修会
外部から講師を招聘し、毎年GPAやポートフォリオなどテーマを決めて、講演会を実施。
- ②月例教員会議の際の各教員持ち回り発表
月例の教員会議の際、各教員持ち回りで各々の専門分野について相互レクチャーを行い、教員同士の相互理解の一助とする

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ①FD研修会
年1回開催、専任教員全員参加
- ②月例教員会議の際の各教員持ち回り発表
原則月1回開催、専任教員全員参加

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ①ポートフォリオやキャップ制など教員にとって馴染みのない用語について理解できる
- ②各教員の専門分野を相互に理解することにより、専門職種以外の領域を理解し、
学生指導の一助につながる
- ③継続的FD活動の存在が各教員の授業に適度な緊張感を生み出し、授業内容を絶えず
刷新する動きにつながることが期待できる。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

半期の授業の場合は15回目、通年の授業では30回目、半期の半期の授業では7回目の授業時に
授業評価アンケートを実施

b 教員や学生への公開状況、方法等

各教員へはデータをフィードバック、学生等へはホームページや自己点検評価報告書で
集計結果を公表

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

1. 設置の趣旨、目的

国際医療福祉大学（以下、「本学」という。）は教育基本法及び学校教育法に基づき、保健医療福祉に関する理論と応用の教授研究を行い、幅広く深い教養及び総合的判断力を培い、豊かな人間性を涵養し、保健医療福祉に関する指導者とその専門従事者を育成することを目的としている。医学検査学科（以下、「本学科」という。）においても、本学の教育理念を軸に、この目的を達成するための教育を実施している。

2. 学生確保の見通しについて

開設前年度に当たる平成24年度より現在に至る入試受験倍率は、2.3倍（平成25年度入試）、5.1倍（平成26年度入試）、2.6倍（平成27年度入試）、3.2倍（平成28年度入試）であり、定員を充足している。九州各県の高等学校及び受験生に本学科の存在を認識いただき、その役割に対し一定の評価をいただいていると考えている。医学検査学科の所在する大川キャンパスの通学エリアを含む福岡佐賀両県からの志願者が開設以来毎年全体の60%を占めており、地域のニーズに応えた開設であったと実感している。

3. 人材育成

本学の特徴的な基礎教育である関連職種連携教育は、1年次のアーリーエクスポージャー、2年次の「関連職種連携論」を経て3年次の「関連職種連携ワーク」、4年次の「関連職種連携実習」と、段階的に連携能力を身に付けさせる体系的なカリキュラムを確立している。

また、国際性の涵養を目指した「海外保健福祉事情」においては、2年次に開講し、今回で3回目の研修となる。6カ国で2週間の研修を行い、現地の医療福祉事情を学び、医療関係者や現地で医療福祉を学ぶ学生との交流を果たしている。

専門教育については、一層の充実に取り組んでいる。辞退者、退職者に代わって高度に専門教育を実施できる人材を招いており、当初の予定より教員数を増やしている。

4. 校地・校舎の整備計画について

校地、校舎については計画どおり整備済みであり、医学検査学科の各実習室も円滑に稼働している。

5. 入学試験について

一般入試、大学センター試験利用入試に加え、A0入試、推薦入試、特待生特別選抜入試、社会人特別選抜入試、留学生特別選抜入試などを実施している。幅広く機会を提供し、多様な観点から選抜できるように努めている。

6. 総合評価・所見

以上により、本学科において設置の趣旨、目的に沿った教育を適正に実施していると考えている。完成年度を迎え、就職・国家試験合格に向けて教職員一体となって取り組んでいる。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成28年5月1日 公表（2015年度版）

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

・平成26年度に財団法人日本高等教育評価機構の認証評価（平成19年度に続いて2回目）を受けた。
次回は平成33年度を予定。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (☒ 有 ・ ☐ 無)
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (平成 2 8 年 5 月 3 1 日頃)